

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業（収益的収入及び支出）			
所管課	経営企画課		(宇陀市立病院)		宇陀市立病院事業特別会計予算	
事業の目的	地域の方々に、人生の最後まで、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送っていただくため、当院は地域の中核病院としての役割と責任を果たすべく、地域の医療需要に対応するための医療提供体制を構築することが課題となっている。 今年度は内科診療体制が整備され、地域包括ケアシステムの中核病院として機能するとともに、コロナ禍における医療提供体制の整備を行い、住民に信頼される安全で質の高い医療の発展に努める。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
					事業	
根拠条例等	宇陀市立病院事業の設置に関する条例					
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実					
R3年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・病床数 176床 ・年間患者数 <ul style="list-style-type: none"> ・入院 45,625人 (1日平均 125人) ・外来 100,430人 (1日平均 415人) ・収益的収入 4,003,930千円 (対前年度 3.8%増) (前年度予算額 3,856,750千円) ・収益的支出 4,003,930千円 (対前年度 1.5%増) (前年度予算額 3,945,188千円) 				財源の内訳 (単位：千円)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度決算状況 ・年間入院患者数 52,417人 (1日平均 143人) ・年間外来患者数 90,647人 (1日平均 375人) ・収益的収入 3,527,839千円 ・収益的支出 3,669,455千円 ・令和2年度決算見込 ・入院収益は約3%減の見込み ・外来収益は約6%減の見込み 事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)				分担金負担金	
					使用料手数料	
					国費	
					県費	399,207
					市債	
					その他	448,018
					一般財源	3,156,705
					R3予算額	4,003,930
					R2当初予算額	3,945,188
					R2現計予算額	3,984,928
					増減額	58,742
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	3,669,455	3,801,621		新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 399,207千円		
従事職員数【人工】				一般会計補助金 54,021千円		
人件費 (人工×8,000千円)				一般会計負担金 215,435千円		
総事業費：人件費含む (千円)	3,669,455	3,801,621		資本費繰入益 178,562千円		
活動指標名	病床利用率					
活動指標の算式	年間入院患者数／年延病床数					
活動指標の実績(見込)	81.6	単位	%	73.6	単位	%
単位当たりコスト (円)	44,968,811	51,652,459		備考		

令和 3 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業（資本的収入及び支出）			
所管課	経営企画課		(宇陀市立病院)		宇陀市立病院事業特別会計予算	
事業の目的	奈良県東部地域の中核病院としての役割を果たすべく、高度医療機器の導入・既存機器等の更新を行う。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
事業						
根拠条例等	宇陀市立病院事業の設置に関する条例					
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実					
R3年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 資本的収入 65,625千円 (前年度予算額 145,000千円) 資本的支出 355,916千円 (前年度予算額 372,090千円) 事業内容(支出) <ul style="list-style-type: none"> うち建設改良費 84,116千円 うち企業債償還金 265,960千円 うち長期貸付金 5,840千円 収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに現年度及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。 				財源の内訳 (単位：千円)	
	宇陀市立病院は、昭和29年の開院以来、地域の中核的な医療機関としてその役割を担い、また将来においても地域医療の確保及び医療水準の向上と、課せられた役割と使命には大きなものがある。 高度医療機器等の整備を推進することにより、住民の幅広いニーズに対応できる医療機関としての機能と役割を担うことが可能となる。				分担金負担金	
使用料手数料						
国費						
県費						
市債					45,000	
その他					20,625	
一般財源					290,291	
R3予算額	355,916					
R2当初予算額	372,090					
R2現計予算額	386,390					
増減額	▲ 16,174					
事業のコスト			令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)	330,285	384,070	企業債 45,000千円 一般会計負担金 20,625千円			
従事職員数【人工】						
人件費 (人工×8,000千円)						
総事業費：人件費含む (千円)	330,285	384,070				
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)	単位		単位			
単位当たりコスト (円)						
						備考